



令和7年度 乳幼児教育・保育協働研修通信



令和7年5月20日(火) 第1回研修会(教育・保育の質向上)を開催しました。

33名の先生方と一緒に学び合いました。

(保育所(園)9名・幼稚園3名・認定こども園9名・小学校9名・療育施設3名)



1. グループワーク

宇治市の乳幼児期の教育・保育の基本理念「ともに生きて ともに育ち ともにつながる」からイメージする写真を持ち寄ってグループワークをしました。



写真についてエピソードを紹介し合いました。



グループワークまとめ

乳幼児期に育みたい力を一文で表現しました。

乳幼児期に大切だと思われる大人の関わり方を一文で表現しました。

A グループ

心の土台

A グループ

子どもの心により寄り添い、理解しようと努め、そのために大人自身の心のゆとりを大切にする。

B グループ

興味をもたことに挑戦し、エウとアスカ

B グループ

すぐに答えださず
待つ、見守り、聞き取り

C グループ

遊びを通して、いろいろな人と関わる力。

C グループ

子どもを信じて見守り、共に考えていく。

D グループ

人と関わる心地良さを安心感、楽しさを感じる力

D グループ

大人の心持ち——小さなことでもステキと思える——

E グループ

自分の思いを表現する力

E グループ

柔軟に受けとめる

F グループ

友だちや自然と自らつながり、今と未来を過ごしていく力

F グループ

安心して過ごせる居場所を作り、子どもたちの成長を促す。



グループワークの中で、心に残ったこと

(参加できなかった仲間にならせたこと)を教えてください。

伝え合う

- ・“子どもの育ち”について色々な目線で考え共有したことで、前向きな気持ちで子どもたちと向き合うきっかけになった
- ・意見を出し合いながら「受け止めることの大切さ」を話し合えたこと
- ・子どもたちと関わる仕事をしている同士でのテーマに沿って様々な思いを伝え合えたこと
- ・同じ宇治市の中で同じように子どもたちの育ちを考えている先生達がたくさんいることを知れて励みになった。
- ・それぞれの現場にいる子どもたちの様子について楽しくそして真剣に話し合えたこと
- ・園での活動には「総合的な学習の時間」の参考になるものがたくさんある!

大切にしたい

- ・人とつながるには自分がしたいこと、したくないことを表現すること
- ・失敗する経験、そのあと考えたり悩んだりする経験
- ・人と関わる中で安心感、楽しさを感じる力
- ・子どもの気づきを大切にしていきたい
- ・大人の心の余裕(小さなことでも素敵だと思えたり、正解だけを押しつけずに共に考え見守ったりすること)
- ・生活リズムを整えることが子どもの育ちにつながる
- ・子どもたちに自分たちがどうしたいかを考えさせる
- ・大人がすぐに答えを出さず、子どもたちがどうするか待つという姿勢
- ・寄り添うことを大切に、子どもの行動を見取り、行動を理解しようとしていること

主体性

- ・子どもの主体性を大事にできるよう、子どもからの発信につながる環境づくり
- ・子どもたちが主体となり、考えて行き詰まった時は助言をしていること
- ・子どもの主体性ということをどの園でも小学校でも大切にされており、子どもたちが自ら人生を豊かに彩ってゆく土壌が作られていると感じた
- ・年長クラスでお米を作って食べられるまで育てられたお話に感動した(土作りから始め、子どもたちの主体性を大切に、小学校での生活につなげられるように配慮されていて地域の方との関わりも大切にされていて素晴らしかった)

信じる

- ・子どもの力を信じて子どもがしたいことをサポートする教師の関わり
- ・どんなことでも受け止め、見守りながら子どもを信じること



2. 基調講演



演題 育もう 未来のつぼみ 咲かせよう それぞれの花
「ともに生きて ともに育ち ともにつながる」

講師 国立大学法人京都教育大学
教育学部 幼児教育科 准教授 佐川 早季子 先生

講師の先生のお話の中で、心に残ったこと

(参加できなかった仲間に知らせたいこと)を教えてください。



※教育的
瞬間

- ・見逃さないように保育を行う ・常にアンテナをはっていたい
- ・一瞬を捉える力 ・捉えて働きかけを行う力
- ・まさに保育の質を問われる場面
- ・気づく保育者の力をいかに育てるか

願 い

- ・願いを持った援助や環境づくり
- ・日々の保育の中で子どもたちに伝えていく
- ・子どもたちが経験したことに対して、どのような願いを持って声をかけるか
- ・教師の願い(価値観)が子どもたちに伝わる



発想の
転換

- ・小学校へ上がる時は0になるのではなくつながっている
- ・小学校が子どもを迎える準備をする
- ・小学校が幼児教育から学ぶ!!

ほどよい
距離感

- ・小学校入学期にはコミュニケーションの差が大きいことが課題
幼児期のやり方を踏まえた授業づくり
- ・すべてを大人がするのはなく、子どもたち同士でつながり、励まし合うことができる「ほどよい距離感」を大切にする

連携

- ・自分たちが大切にしたいことを確認しあう
- ・どこに願いを持つか、職場の仲間と話してみたい
- ・子どもの声に気づく力を意識していくことを高めるために必要な先生同士の対話が大切
- ・小学校側がもっと保幼に寄り添っていく必要があると感じた
- ・子どもを見る「まなざし」をつなげる

※教育的瞬間 ・「子ども(たち)のためになんらかの教育的な働きかけをしなければならない瞬間」
(ヴァン=マネン)
・教師には、保育・教育のなかでの子どもの表情や行為などから、一瞬の「教育的瞬間」を捉え、働きかけを行う力が求められる

(佐川先生の当日資料より)

子どもたちの「ステキ」を現場の
仲間とたくさん見つけて共有した

子どもの姿をポジティブに捉え、小さな育
ちも見つけていけるよう「まなざし」を意
識していきたい

子どもの行動を見取り、先を見通
した声かけ

幼児期に培ってきた力を
小学校で活かしたい

願いをもって援助し環境を
つくっていく

子どもたちを信じて見守る
ことを今まで以上に意識し
ていきたい

過去の子どもの姿を大切に今の
子どもの姿も大切にしていきたい

一人ひとりを知り、その子
に合った声かけを見つ
けていきたい

子どもの気持ちを大切に認めて
いくことを改めて大切にしながら
支援していきたい

先生の願いを持った関わり
が環境になることを大切に
して日々の保育をしていきたい

形にはまらず保育を
考えたい

事業者内で毎日行っている、
「同僚と共感して話し考える機
会を持っていること」はこれから
も大切にしていきたい

保育や授業で
活かしたいこと



子どもの今に寄り添い、今を
生き生きと過ごせるよう、学び
を活かしたい

縦割りで過ごしている時間が
あるという話があり、自分の園
でも活かしていきたい

心のゆとりを持って子どもと
接していきたい

子どもへの声かけ“教師
のねがい”が声かけの中
ににじみでる 願いそのも
のを鍛える!

子どもの力を引き出す
声かけの仕方

日々の保育の中にある「教育的
瞬間」「今」言わないと伝わらな
い価値を見逃さないように子ども
たちを見守りたい

どのような願いを持つのか、
しっかりと柱をもって保育を
していきたい

待つ姿勢を日々意識して
授業に取り組んでいき
たい・待ちながらも導いて
いきたい

月齢差を意識した授業づくり

保育者自身に心の余裕がないと子どもの心
に寄り添うことは難しいことを再確認できた
ので保育者が“楽しい”と感ずることができ
る職場づくりをしたい

就学前施設で大切にされていることを
1年生になっても継続して行っていきたい
(年長が年中・年少のお手本となる姿は
異学年交流でも活かそう)

一緒にグループワークをした仲間に一言メッセージ

【A グループ】

- ・深く話し合えたこと、たくさん学びになりました！
- ・「心の土台」を育めるような教育・保育をしたいです
- ・皆さんが子どもの様子を語っておられる熱い姿に感動したし、すごく楽しかったです。ありがとうございました。
- ・とても有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- ・話しやすい先生ばかりでたくさんお話ができて良かったです。とても学びになりました。ありがとうございました。

【B グループ】

- ・ありがとうございました。様々な話が聞けて勉強になりました。
- ・他園、他校さんのことを知る良い機会となりありがたかったです。
- ・たくさん意見を聞かせていただき勉強になりました。
- ・ありがとうございました。本日の学びを活かして日々の授業をよりよいものにしたいと思います。
- ・就学前施設での活動について知れて、とても新鮮でした。ありがとうございました。

【C グループ】

- ・質問やこうしようなどと引っ張って皆さんが言うてくださったのですごく楽しくお話ができました。
- ・楽しいグループワークをありがとうございました。小学校・幼稚園のステップを小さくするための工夫をされていて安心することもできました。
- ・それぞれの園・校での実践を写真付きで紹介していただけてとても学びが深まりました。楽しくお話ができました。ありがとうございました！
- ・それぞれの先生方の願いを聞かせていただき、刺激をたくさんもらいました。
- ・他校や園の様子が知れてよかったです
- ・みなさん各現場での実践や気づきを話していただき、充実したグループワークになりました。ありがとうございました。

【D グループ】

- ・小さなことでもステキと思う自分の感覚が共感してもらえてとてもうれしかったです。
- ・色々なお話が聞けて勉強になりました。
- ・自園以外の保育実践を知るとてもいい機会でした。たくさん実りある話し合いができました。
- ・初めて保育士さんとお話できてうれしかったです。
- ・様々な意見を知ることができました。ありがとうございました。

【E グループ】

- ・今日はありがとうございました。
- ・大切にしたい思いが似ていることがわかり力になりました。
- ・たくさんお話を聞かせていただきありがとうございました。また機会があればよろしくお願いします。
- ・楽しく同じ思いを持った先生方が近くにいることが嬉しかったです。
- ・様々な園・小学校の様子を聞けて貴重な経験になりました。

【F グループ】

- ・幼児教育に学ばせてもらえるような連携ができればありがたいです。よろしくお願いします。
- ・園での取組の紹介がとても勉強になりました。
- ・一緒に子どもの今を大切に子ども中心な生き生きした保育を楽しんでいきましょう！
- ・たくさんお話ができて楽しかったです。ありがとうございました。
- ・色々な先生方とご一緒できてよかったです！

